

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
(2013年3月 検針分)

2012年10月～2012年12月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2013年3月 検針分の単位料金は 2013年2月 検針分 と同じになります。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2013年2月	(B) 2013年3月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	231.3455	231.3455	0.0000
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	174.9629	174.9629	0.0000

●平均原料価格

	単位	2012年9月 ～ 2012年11月	2012年10月 ～ 2012年12月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	64,920	64,570	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	80,220	86,620	
平均原料価格	円/トン	65,950	65,940	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 65,940 - 62,680 = 3,200 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金=基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2013年3月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	228.4895	231.3455	2.8560
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	172.1069	174.9629	2.8560

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2013年2月	(B) 2013年3月	影響額 (B)-(A)
26	6,621	6,621	0

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)